

4. 資料
(1) 調査票

平成30年

東京消防庁
消防に関する世論調査
調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

※ 調査にご協力いただいた方には、後日、謝礼（図書カード500円分）をお送りします。

～ 記入上の注意事項 ～

1. 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。
2. 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の「1つだけ」、「いくつでも」といった説明に沿って回答してください。
3. 「その他」を選ばれた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. ご多忙中大変恐縮ですが、9月21日(金)までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。
5. 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。
インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。

- ◆ パソコン・スマートフォンからの回答はこちらから
(回答アドレス：<https://rsch.jp/eqt2/?2018tfd>)
なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、
回答してください。

ID : 12293 (半角数字で入力)
パスワード : ffz43 (半角で入力)



スマートフォン用
QRコード

- インターネット回答につきましても、9月21日(金)までにご回答くださいますようお願い申し上げます。
6. 本調査票の設問・回答方法などに関するご質問は、下記までお願いいたします。

【問合せ先】

東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係

電話 : 03-3212-2111 内線 2325 FAX : 03-3212-1027

I 消防行政に対する満足度

Q1 東京消防庁では、都民のみなさまの安全と安心を守れるよう、充実した消防の行政サービスを進めています。

下記AからDの分野について、あてはまるものを、それぞれ1つずつ選び、また、そのように回答した理由を下欄からいくつでも選んでください。

A 火災などの災害における活動に関すること

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】※いくつでも選んでください。(どちらとも言えないと回答した人を除く)

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 集中豪雨などによる水災・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤、危険物及び毒物などの特殊災害対応
- 5 消防団の災害対応
- 6 都外及び国外への災害活動支援
- 7 その他(具体的に)

B 救急業務に関すること

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】※いくつでも選んでください。(どちらとも言えないと回答した人を除く)

- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当(AEDの使い方など)の普及活動
- 3 救急相談センター(＃7119)のサービス内容
- 4 その他(具体的に)

C 都民のみなさまの防災行動力向上に関すること

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつか選んでください。(どちらとも言えないと回答した人を除く)

- 1 地域における防火防災知識の普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 消防少年団の活動内容の充実
- 4 消防博物館や防災館などの施設の充実
- 5 その他 (具体的に)

D 火災予防に関すること

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつか選んでください。(どちらとも言えないと回答した人を除く)

- 1 事業所 (共同住宅の共用部分を含む) への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他 (具体的に)

Ⅱ 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q2 あなたが家でテレビを見ている時、大きな揺れを感じました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 使っている火を消したり、火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他（具体的に)

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

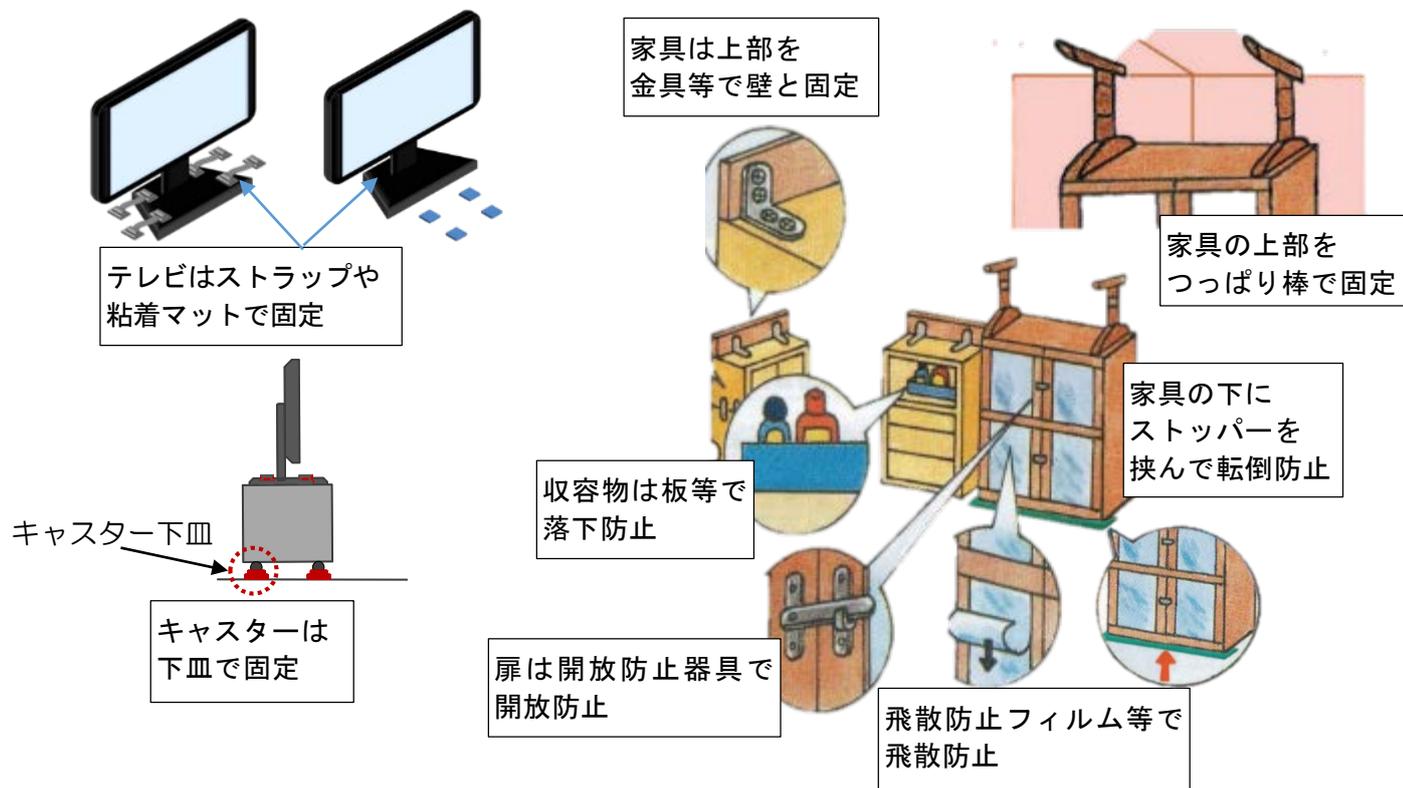
Q3-1 近年、日本で発生した大きな地震では、家具や家電が倒れてきたり、高いところに置いてある物が落ちたりすることにより、多くの方が負傷しています。

そこで、図1、図2を参考に、あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3-2へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3-2へ)

【図1「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例】

以下の対策を1つでも実施していれば、「実施している」に該当します。(あくまで参考例です。)



【図2「倒れる可能性のある家具類がない」例】



Q3-2 Q3-1で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない（一部にのみ実施している方は、実施していない部分について）理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 面倒である
- 2 地震で家具が倒れるとは思わない
- 3 器具を売っている場所がわからない
- 4 器具が高価である
- 5 対策方法がわからない
- 6 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 7 壁や家具にキズを付けたくない
- 8 建物が免震又は制振構造である
- 9 その他（具体的に)

Q4 家具類の転倒・落下・移動防止対策以外で、あなたの家で大地震への備えとして行っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いている
- 2 地震時に、散乱物でけがをしないようスリッパやスニーカーなどを身近に準備している
- 3 建物やコンクリートの塀などに必要な補強をしている
- 4 火災の発生に備え消火器を準備している
- 5 普段使用しない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いている
- 6 地震時に電源が自動的に切れるブレーカーやコンセントを設置している
- 7 非常用品は置く場所を決めて準備している
- 8 家族が離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めている
- 9 避難場所・避難経路を確認している
- 10 自治体の防災マップなどで自分が住む地域の地域危険度を確認している
- 11 その他（具体的に)
- 12 何もしていない

Ⅲ 救急に関すること

「東京消防庁救急相談センター」及び「東京版救急受診ガイド」に関することについてお聞きします。

Q5 病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った時、電話で相談でき、また、インターネットを使って自分で緊急性を判断できる、「#7119」※を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

※ 「#7119」は、電話で相談できる「東京消防庁救急相談センター」と、インターネットによる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。詳しくは、東京消防庁ホームページ (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>) をご覧ください。

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。

Q6 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があったと思った
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 交通手段がなかった
- 5 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった
- 6 どの病院に行けばよいかわからなかった
- 7 夜間・休日で診察時間外だった
- 8 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 9 家族や友人、居合わせた人に薦められた
- 10 かかりつけの医師又は医療関係者に薦められた
- 11 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた
- 12 その他（具体的に)

応急手当についてお聞きします。

Q7-1 都民の方を対象に様々な応急手当講習が行われています。救命講習をあなたは受けたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 東京消防庁（公益財団法人東京防災救急協会含む）で受けたことがある（→[Q7-2](#)へ）
- 2 東京消防庁以外で受けたことがある。（→[Q8-1](#)へ）
- 3 受けたことがない（→[Q8-1](#)へ）

Q7-2 Q7-1で1を選んだ方にお聞きします。東京消防庁が行っている救命講習のうち、あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 その他（具体的に _____ ）

Q8-1 あなたの周りの人が急病やけがをしたとき、あなたにできる応急手当を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 声をかけるなど励ます
- 2 反応（身体の動きや意識など）や呼吸などの確認
- 3 毛布をかけるなどして保温する
- 4 けが人や急病人の症状に適した姿勢にする
- 5 やけどの手当（冷やす、被覆する）
- 6 出血を止める
- 7 骨折が疑われる部位を固定する
- 8 のどに異物がつまった時に、背中を叩いたり、口の中からかき出す
- 9 AED（自動体外式除細動器）の使用
- 10 胸骨圧迫（心臓マッサージ）
- 11 人工呼吸
- 12 その他の応急手当（具体的に)
- 13 何もしない（→Q8-2へ）

（13以外を選んだ方はQ9-1へ）

Q8-2 Q8-1で13を選んだ方にお聞きします。あなたが、何もしない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 何をしたらよいかわからないから
- 2 かえって悪化させることが心配だから
- 3 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 4 感染などが心配だから
- 5 怖いから
- 6 触るなど教わったから
- 7 自信がないから
- 8 関わりたくないから
- 9 その他（具体的に)

IV 自主防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q9-1 あなたが最近1年間で参加したことがある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車での地震体験など）
- 7 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 8 その他（具体的に _____)
- 9 どれも体験・参加したことがない（→Q9-2へ）

（9以外を選んだ方はQ10へ）

Q9-2 Q9-1で9を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 その他（具体的に _____)

Q10 訓練やイベントなどで、あなたが参加・体験したいものはどれですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火器の取扱い訓練
- 2 放水による消火訓練
- 3 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 4 煙の中を避難する訓練
- 5 避難器具（避難はしごなど）を使った訓練
- 6 車の工具（ジャッキなど）を使った救出・救助訓練
- 7 水災に関する訓練
- 8 地震の揺れの体験
- 9 VR防災体験車[※]による災害疑似体験
- 10 身近にあるものから非常時に役立つものをつくるサバイバル訓練
- 11 防災の映画会、座談会、講演会
- 12 消防署の施設見学
- 13 防災館（都民防災教育センター）での防災体験
- 14 消防博物館（消防防災資料センター）の見学
- 15 最新の装備や技術を紹介する消防防災展
- 16 その他（具体的に)
- 17 どれも参加したくない

※ VR防災体験車

地震・火災・風水害の災害を360度のバーチャルリアリティ映像とモーションシート
の揺れや風、熱などの演出により、災害を疑似体験ができます。

VR防災体験車の体験ができる主な予定については、東京消防庁ホームページ
(http://www.tfd.metro.tokyo.jp/ts/bousai_fukyu/index.html) をご覧ください。



高齢者や体の不自由な方への取組についてお聞きします。

Q11-1 東京消防庁では、高齢者や体の不自由な方など災害時に支援が必要な人を対象に、「住まいの防火防災診断」*を実施しています。

あなたは「住まいの防火防災診断」を知っていますか。また、受けてみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っていて、受けたことがある (→Q11-2へ)
- 2 知っていて、受けてみたい (→Q11-2へ)
- 3 知っているが、受けたくない (→Q12-1へ)
- 4 知らなかったが、受けてみたい (→Q11-3へ)
- 5 知らないし、受けたくない (→Q12-1へ)

※ 「住まいの防火防災診断」とは、高齢者や体の不自由な方など、災害時に支援が必要な方のお住まいに消防職員が個別に訪問し、お部屋の中における火災、地震、家庭内事故等による被害の発生危険をチェックし、安全・安心な生活を送るためのアドバイスなどを行う総合的な防火防災診断として、東京消防庁管内の全消防署で実施しています。



電気のコードを束ねたまま使用していませんか？

住宅用火災警報器は付いていますか？

ストーブなどの回りに燃えやすいものを置いていませんか？

ころんでけがをする危険がある場所はありませんか？

家具が転倒したり落下したり移動したりしませんか？

このように、お家にひそむ危険を見つけて、その対策をアドバイスします。

Q11-2 Q11-1で1又は2を選んだ方にお聞きします。あなたは「住まいの防火防災診断」を何で知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 チラシ
- 2 東京消防庁や消防署のホームページ
- 3 消防署の窓口で聞いた
- 4 座談会や地域の集まりで聞いた
- 5 防火防災訓練で聞いた
- 6 消防職員が訪問してきて聞いた
- 7 区市町村の職員から聞いた
- 8 福祉関係者から聞いた
- 9 知人や友人から聞いた
- 10 町会・自治会の回覧板で知った
- 11 区市町村の広報誌等で知った
- 12 その他（具体的に)

Q11-3 Q11-1で1、2、4を選んだ方にお聞きします。「住まいの防火防災診断」を受けやすくするためには、何が必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消防署や各自治体からのお知らせに申込み方法が載っている
- 2 町会や自治会の回覧板に申込み方法が載っている
- 3 消防署のホームページに申込み方法が載っている
- 4 防火座談会や防火防災訓練の会場で希望者を募集している
- 5 地域の集まりで希望者を募集している
- 6 福祉関係者を通じて希望者を募集している
- 7 電話やFAXで消防署に申し込める
- 8 メールで消防署に申し込める
- 9 診断当日は、顔見知りの福祉関係者が一緒に来てくれる
- 10 診断当日は、区市町村の職員と一緒に来てくれる
- 11 診断当日は、町会・自治会や民生児童委員等の地域の方が一緒に来てくれる
- 12 診断当日は、家族、親族等と一緒にいるときに来てくれる
- 13 診断当日は、消防職員だけが来る
- 14 その他（具体的に)

V 消防団に関すること

消防団についてお聞きします。

Q12-1 あなたは、あなたの地域の安全・安心を守る消防団を知っていますか。
次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q12-2へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q12-2へ)
- 3 知らない (→Q13へ)

Q12-2 Q12-1で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q13へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q13へ)
- 3 入団したくない (→Q12-3へ)
- 4 わからない (→Q13へ)
- 5 すでに入団している、又は、入団していたことがある (→Q13へ)

Q12-3 Q12-2で3を選んだ方にお聞きします。入団したくない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 関心がないから
- 2 活動が大変そうだから
- 3 消防団についてよく知らないから
- 4 活動する時間がないから
- 5 その他 (具体的に)

Q13 次の内容は消防団員の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

Q14 消防団の活動であなたが魅力を感じることにについて、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 地域社会に貢献できる
- 2 自分の住む地域又は働く地域との結びつきを強められる
- 3 女性が活躍できる場がある
- 4 制服を着て活動ができる
- 5 防火服を着て火災現場で消火活動ができる
- 6 応急手当の知識や救助技術が身につく
- 7 無線や船舶の資格を取得できる機会がある
- 8 年額報酬や出場手当が支払われる
- 9 功労に応じて表彰制度がある
- 10 消防団活動でけがなどをした場合は、補償制度がある
- 11 学生消防団員には、就職活動を支援する制度がある
- 12 特別職の地方公務員である
- 13 その他(具体的に)

VI 火災予防に関すること

住宅用火災警報器^{※1}についてお聞きします。

Q15-1 住宅用火災警報器は、全ての居室^{※2}、台所、階段に設置が義務付けられています。あなたのお住まいの設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している (→Q15-2へ)
- 2 一部にしか設置していない (→Q15-2へ)
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない
- 4 全く設置していない

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 居室とは居間、ダイニング、子供室、寝室など常時継続的に使用する部屋をいい、浴室、トイレ、納戸などは含みません。

Q15-2 Q15-1で1又は2を選んだ方にお聞きします。

あなたはこれまでにお住まいの住宅用火災警報器の作動確認^{※1}及び本体交換^{※2}を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 作動確認を実施した
- 2 本体交換を実施した
- 3 どちらも実施した
- 4 知っているが実施していない
- 5 知らなかった

※1 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを行います。

※2 作動確認や、自動試験機能により機器の異常が表示又は音響などにより伝達された場合、交換期限が経過した場合に本体交換を行う必要があります。

<フェイスシート>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを伺わせてください。

お住まいの地域 () 区・市・町・村)

性別 1 男性 2 女性

年齢 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70歳以上

ご職業 1 自営業主 2 家族従業(家業手伝い)
3 勤め(フルタイム) 4 勤め(パートタイム)
5 無職の主婦・主夫 6 学生
7 その他の無職
8 その他 ()

家族構成 あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方がいらっしゃれば、すべて選んでください。

- 1 6歳以下の乳幼児 2 65歳以上の方
3 病気などで寝たきりの方 4 身体の不自由な方
5 いずれもない

住居形態 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

- 1 一戸建て
2 マンション・アパート (何階にお住まいですか→ 階)
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など (何階にお住まいですか→ 階)

建物構造 あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 耐火造 (鉄骨造、コンクリート造など)
2 耐火造以外

所有区分 あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 持家 (家族所有含む)
2 賃貸

消防との関わりについて 消防と関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 その他（具体的に _____）

質問はすべて終了です。ご協力、誠にありがとうございました。

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。



ありがとうございました！